

2022.4.1
Vol.253

かわ



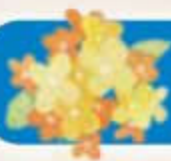
Contents vol.253

- わがまちのかわ◎第51回小竹町・・・P1～P2
- 防災情報・・・・・・・・・・・・・・・・P3
- 不法係留船対策・・・・・・・・・・・・P4
- 水もり自慢/チーム杷木の発表・・・P5～P6
- 災害復旧実務講習会(第1・2回)・・・P7～P8
- ふくおかの身近な川とさかなを知ろう!
No.8 全国における汽水性ハゼ類の分布について
・・・・・・・・・・・・・・・・P9～P10

河川協会からのお知らせ

郷土ふるさと 福岡の河川を知る

わがまちのかわ



第51回 小竹町



遠賀川風景

小竹町の概要

小竹町は、福岡県の中央部、鞍手郡の南東部に位置し、北から東は直方市、東から南は飯塚市、西は宮若市に接しています。町を南北に流れる一級河川「遠賀川」に沿って開けた町です。

明治17年、勝野・新多・新山崎・南良津・御徳・赤地・中泉の7ヶ村で勝野村外6ヶ村戸長役場を置き、明治22年町村施行の際に中泉村は福智村(現直方市)に併合され、他の6ヶ村を合併して勝野村として発足しました。昭和3(1928)年1月1日、勝野村に町制が施行され現町名に名称変更されました。

町名の由来は、古来町内の街道沿いに竹藪が生い茂り、小竹の町まで続いて、「小竹の処」といわれたのが町名のおこりになったといわれています。

その昔から、坂本龍馬も往来していたといわれる長崎街道を擁する交通要衝の地であり、今も小竹地区のまち筋にその面影をとどめています。現在は、遠賀川沿いの国道200号、これと並走するJR九州福北ゆたか線が、福岡市から北九州市へ通じており、福岡市、北九州市とは約40km、電車、車で1時間以内の距離です。

江戸時代から石炭の町として栄えていましたが、現在では、小竹団地という工業系の団地があり、雇用の場も確保されています。

小竹町の主要特産物としては、黒大豆(クロダマル)、キャベツ、ブロッコリーがあり、米の生産も行われています。

毎年3月には、遠賀川沿いのサイクリングロードを利用して、ふるさとマラソン大会が開催されており、子供から大人まで多くの参加者で賑わう人気イベントとなっております。

また、「～長崎街道・歴史探訪のみち～美しい日本の歩きたくなるみち500選」に認定されているウォーキングコースもあり、旧長崎街道や町の各所に点在する数々の史跡をめぐることが出来ます。

小竹町は、その昔から長藪(ながやぶ)騒動などの史実にあるように、「おもてなし」の気持ちを持った町民が多く、「かわと緑と優しいひと」「すみよか」こたけをスローガンに掲げ、小さくてもキラリと光る小竹町をめざして様々な施策に取り組んでいます。

秋風と灯りの夕べ(10月頃開催)



小竹町中央公民館の会場全体を竹灯籠のあたたかい灯りで包み込む。ピアノの演奏と共に、詩や絵本の朗読で癒しのひとときを堪能できます。

アルコ23号(小竹町指定文化財第4号)



全国で2台しか存在しないアメリカ製機関車。炭鉱を採掘していた当時の様子を今に伝える文化財で、その角張った独特のスタイルから“弁当箱”の愛称で親しまれていました。

合屋古墳(小竹町指定文化財第1号)



古墳時代後期(6世紀末から7世紀初頭)の古墳で、前後二つの横穴式石室を持ち、遠賀川と庄内川の合流する地点に現存する円墳です。

涅槃像



境内を100体ほどの地藏が取り囲み、その中で身長40cmの涅槃像が左肘をついて横たわっており、たいへん珍しいものとなっています。

ふるさとマラソン大会



御徳大橋下サイクリングロードを直方方面にスタートし、各種目半分地点で折り返し、ゴールとなります。各種目別(学年別)に参加条件があり、その中で競います。

南良津獅子舞(小竹町指定文化財第2号)



宝暦2年(1752年)に8年続いた豊作を祝って獅子舞を「秋のおくんち」に奉納したのがはじまりとされています。

防災情報

福岡県では、大雨や災害発生時に役立つ雨量、水位の情報等をインターネット等で公表しています。

福岡県総合防災情報

防災気象情報や土砂災害危険度情報、道路情報のほか、大雨の時に気になる「雨量」「水位」「ダム」の情報および河川監視カメラの「映像」をインターネット上で公表しています。

水害・水難事故等の軽減に役立つリアルタイムの情報を携帯電話、スマートフォン、パソコンからご覧になれます。



スマホ版



携帯版



携帯電話：<http://doboku-bousai.pref.fukuoka.lg.jp/sp>

パソコン：<http://doboku-bousai.pref.fukuoka.lg.jp/gis/info/top/menu>

自助啓発パンフレット・マニュアル



このパンフレットでは、住民の皆さんが災害時に自助行動、すなわち「自分の命は、自分で守る」ための行動をとれるように、災害発生のメカニズムや前兆現象を詳しく解説しています。また、市町村職員や自主防災組織のリーダー向けのマニュアルも作成しています。

いずれも、各県土整備事務所・支所に配架するほか、インターネット上で公表しています。

パソコン：<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/self-help-action.html>



防災メール・まもるくん



福岡県では、災害時の様々な情報をメールでお知らせする「防災メール・まもるくん」を運用しています。河川の水位についても、避難行動を行う目安となる水位の到達情報が登録者あてにメール配信されます。

このような水位の情報が発表された場合はあわせて、気象情報や市町村からの避難指示等に注意してください。

※初期設定では水位情報は配信されないため、登録内容の変更が必要です。

メール登録：mamoru@bousaimobile.pref.fukuoka.lg.jp

※上記に空メールを送信し、その返信内容に従って登録できます。



メール登録

二級河川湊川の状況

糟屋郡新宮町を流れる二級河川湊川には平成22年現在92隻の不法係留船及び不法占用の係留ロープ等がありました。この不法占有により、洪水時の流下能力の低下、係留ロープの設置等による護岸の損傷、廃船からの油漏れなどの水質事故等が懸念されており、地元住民から、大雨時の氾濫や台風時に危険だという声が挙がり、船舶所有者による違法駐車の問題も発生していました。

不法係留船の所有者に対し、河川法第77条第1項の規定に基づく撤去指示を行った結果、令和元年11月時点では47隻あった不法係留船が、令和3年12月に0隻となりました。今後新たな不法係留船が発生しないよう、定期的に河川巡視を行い、注視していきます。



(令和元年11月時点)



(令和3年12月時点)

ふくおか **水** もり 自慢!

「第18回ふくおか水もり自慢! in 杷木」でのチーム杷木の発表

令和3年11月21日に開催された「第18回ふくおか水もり自慢! in 杷木」にて、平成29年7月九州北部豪雨から5年を迎える朝倉市の復興にかける想いを発表しました。

【水の被害から復活へ】

大雨で川が崩落し地域に被害を及ぼした。今現在、改良復旧工事が進んでいる。以前以上に多くの方が訪れる、地域発展を目指す。

(松末地域コミュニティ協議会 日隈繁夫)



川の流れが変わり、集落一面が砂に埋め尽くされしまった。行政と地域住民とで何度も協議を重ね、安全安心はもちろん景観にも配慮した川を作っていく。

(東林田地域復興委員会 林隆信)



白木湧水、水の豊かな地域が現在、巨大な砂防ダムに囲まれている。新たな可能性としてダムを活かした地域づくりを始めしていく。

(白木小水力発電 林清一)

毎年発生する災害に地域一体となり進んできた。自然と共に生きていくことを5年目の節目に誓う。

(一般社団法人Camp 望月文)



チーム杷木MAP



- | | |
|----------------------|----------------------------|
| ① 松末地域コミュニティ協議会 日隈繁夫 | ⑤ 筑後川鶺匠 梶原日出夫 |
| ② 東林田地域復興委員会 林隆信 | ⑥ 原鶴温泉やぐるま荘 ちくごがわっしょい 師岡哲也 |
| ③ 白木小水力発電 林清一 | ⑦ 朝倉観光協会 里川径一 |
| ④ 一般社団法人Camp 望月文 | |

【川の魅力を再確認】

伝統的漁法「鶺飼」。災害で魚が減り、コロナで観光が衰退、休業が続く。鶺と歩む歴史を若い担い手に繋げ、筑後川の伝統を守っていく。

(筑後川鶺匠 梶原日出夫)



怖さを知り、安全を学んだ。歴史を知り、知恵を学んだ。自然を知り、豊かさを学んだ。川には魅力がある。今、多くの方に川へ接する機会を増やすことで、川の魅力、楽しみを知ってもらい、川のある地域の魅力を知ってもらう。

(ちくごがわっしょい 師岡哲也)

(あさくら観光協会 里川径一)



ふくおか水もり自慢! in杷木を開催できたことにより、多くの仲間たちの思いが災害から復興へ至る道しるべになっていることに深く誇りを感じることが出来ました。また「水」という自然の恵みを私たち人間は、おごらずに共に歩いていく必要があることを再認識できたようです。

悠久の流れ「筑後川」に感謝と敬意を払い、次の世代へ受け継いでいこうと決意したイベントとなりました。

令和
3年度

福岡県災害復旧実務講習会の報告

日時 令和3年4月28日(水) 10:00~16:10

場所 博多サンヒルズホテル

福岡県災害復旧実務講習会(主催:福岡県河川協会)は、適正かつ迅速な災害復旧事業を推進するため、災害復旧の実務を行う担当者を対象に年2回開催しています。

第1回の講習会では、県土整備事務所及び県内市町村から85名の方にご参加いただきました。

講習会の冒頭において、「令和2年災害査定の大綱」として、令和2年発生災害の被害状況について報告しました。

次に、災害復旧事業の基本原則や事務手続き等の講義では、災害復旧事業の採択要件、発災後に速やかに実施すべき措置及び被害報告の流れ等について説明を行いました。

また、国土交通省九州地方整備局の今井技術検査官、財務

省福岡財務支局の熊本主計実地監査官を講師としてお招きして、災害査定時に申請者として気を付けるべきポイントを近年の被災事例を用いて、わかりやすく解説していただき、大変有意義なものとなりました。

本講習では災害復旧事業の初心者から経験者まで、幅広い方々に参加していただき、受講者からは、「講習会全体をとおして災害復旧事業の実務において参考になる内容であった」との感想をいただいております。

令和4年度につきましても本講習会の開催を予定しておりますので、多くの方のご参加をお待ちしております。

令和3年度福岡県災害復旧実務講習会
(第1回)プログラム

1. 開会挨拶
2. 令和2年災害査定の大綱
3. 災害復旧事業の基本原則について
4. 災害復旧事業の実務について
5. 災害報告・目録見書の作成について(災害復旧管理システム)
6. 成功認定・再調査について
7. 防災エキスパート会の活動及び災害復旧技術専門家派遣制度について
8. 災害査定と立会
9. 都市施設災害復旧について
10. 「災害査定の手引き」改訂について
11. 河川災害復旧の留意点について
12. 道路災害復旧の留意点について
13. 改良復旧事業について
14. 災害査定の留意事項
15. 成功認定の指摘事例について

アンケートに寄せられた声

- ・ 災害復旧事業の流れや査定時に必要な写真の撮り方の注意点等、災害査定を受けるにあたって理解しておかないとわからないことばかりだったので講義を受けられて良かったです。
- ・ 査定官の視点でのお話はとても興味深く分かりやすかったので、今後も続けて頂きたいです。
- ・ 災害実務を経験していないのでイメージしにくいところがありましたが、頂いた資料を参考に今後の実務に活用していきたいと思っております。



講演の様子



国土交通省 九州地方整備局
企画部 技術検査官 今井様



財務省 福岡財務支局
理財部 主計実地監査官 熊本様

令和
3年度

福岡県災害復旧実務講習会の報告

日時 12月23日(木) 10:00~15:50

場所 福岡県吉塚合同庁舎 8階 803会議室

令和3年度福岡県災害復旧実務講習会(第2回)(主催:福岡県河川協会)を開催し、県土整備事務所及び県内市町村から78名の方にご参加いただきました。

本講習会では、令和3年の災害査定を振り返り、今後の災害査定に備えて、災害復旧の留意事項等について説明を行いました。

また、那珂県土整備事務所とうきは市役所から、災害査定で申請者として実務を行った方を講師に迎え、災害査定申請における留意点等について、体験談を交えてご紹介いただきました。

さらに、国土交通省九州地方整備局の堤技術検査官、平岡技術検査官から災害査定申請時の留意点について、査定事例を用いて査定官の視点でご講演いただき、大変有意義なものとなりました。

受講者からは、「大変勉強になった」、「ためになった」との感想をいただいております。

近年、気候変動の影響により気象災害が激甚化・頻発化しており、毎年のように国内のどこかで大規模な災害が発生しています。そのため、日頃から災害に対して準備しておくことが重要です。

次回の講習会も参加者がスキルアップできるように企画してまいりますので、今後も多くの方のご参加をお待ちしております。

令和3年度福岡県災害復旧実務講習会(第2回)プログラム

1. 開会挨拶
2. 令和3年災害査定の総括
3. 災害復旧事業費の国庫負担金交付申請手続きと清算・成功認定等について
4. 災害復旧事業の繰越手続きについて
5. 災害復旧事業に関する留意事項
6. 災害復旧事業の設計変更と合併・合冊について
7. 都市災害復旧事業等について
8. 河川災害復旧の留意点について
9. 道路災害復旧の留意点について
10. 砂防災害復旧の留意点について
11. 災害査定事例①～河川災～
12. 災害査定事例②～道路災～
13. 災害復旧の留意事項

アンケートに寄せられた声

- ・ 一つ一つの課題に対して説明が分かりやすく、大変勉強になった。
- ・ 災害査定の実例を聞いて、参考になったので、来年以降の実務に活かしていきたい。
- ・ 査定を受けたことがないので、受けるためのに、しっかり勉強して挑みたいと思います。
- ・ 国土交通省から講習をいただき、大変ためになりました。

講演の様子



国土交通省 九州地方整備局
企画部 技術検査官 堤様



国土交通省 九州地方整備局
企画部 技術検査官 平岡様



那珂県土整備事務所
河川砂防課 河川係 鷺崎様



うきは市役所 住環境建設課
公共土木係 松村様



ふくおかの身近な川と さかなを知らう！

No.8

いぬい
乾
りゅう てい
隆帝

全国における汽水性ハゼ類の分布について

乾です。前号では、おもにハゼ類の利用方法について書きましたが、今回からは汽水域を中心に生息しているハゼ類(以下、汽水性ハゼ類)の分布についてお話していきたいと思えます。まず、全国の汽水性ハゼ類の分布状況を調べるために、河川水辺の国勢調査のデータを整理していききました。河川水辺の国勢調査とは、河川を環境という観点からとらえた定期的、継続的、統一的な河川に関する基礎情報の収集整備のための調査のことで、主に全国109の1級水系の直轄区間の河川(河川版)および直轄・水資源機構管理のダム(ダム湖版)が対象です(河川環境データベース: <http://www.nilim.go.jp/lab/fbg/ksnkankyo/>)。生物調査としては、鳥類、魚類、陸上昆虫、動植物プランクトン、両生類・爬虫類・哺乳類、底生動物の調査が行われていて、魚類については、全水系において5年に1回調査されています。ちなみに、1級水系とは、国土保全上または国民経済上特に重要な水系のことで、傾向としては、流域面積や流路延長が大きい河川が多いです。1級水系は、流域全体が国土交通省が直接管理する直轄区間、というわけではなく、都道府県が管理する区間(指定区間)や、市町村が管理する準用河川や普通河川も含まれています。全国のどこに1級水系があるのかは図1を参照してください。河川名は一応ラベルとして書いていますが、作った本人が非常に見づらいつ思いましたので、興味がある方はご自身で是非調べられてください。なお、今回の2つの図は、ArcMap10.7.1(ESRI)を用いて作成しました。

前置きが長くなりましたが、この河川水辺の国勢調査の魚類データを、1992年から2017年まで整理し、全国における汽水性ハゼ類の分布を調べてみました。その結果、アシシロハゼ、マハゼ、ミミズハゼ、ヒメハゼ、アベハゼ、ウロハゼ、チチブ、ピリンゴ、ヒナハゼ、ヒモハゼ、アカオビシマハゼ、シモフリシマハゼ、トビハゼ、ツマグロスジハゼ、マサゴハゼ、エドハゼ、ニクハゼ、チワラスボ、クボハゼ、ノボリハゼ、タネハゼ、タビラクチ、チクゼンハゼ、ショウキハゼの24種が、11水系以上(全水系の約10%)から確認されました。これら24種の汽水性ハゼ類それぞれの分布は、また次号以降で詳しく説明していきたいと思えます。

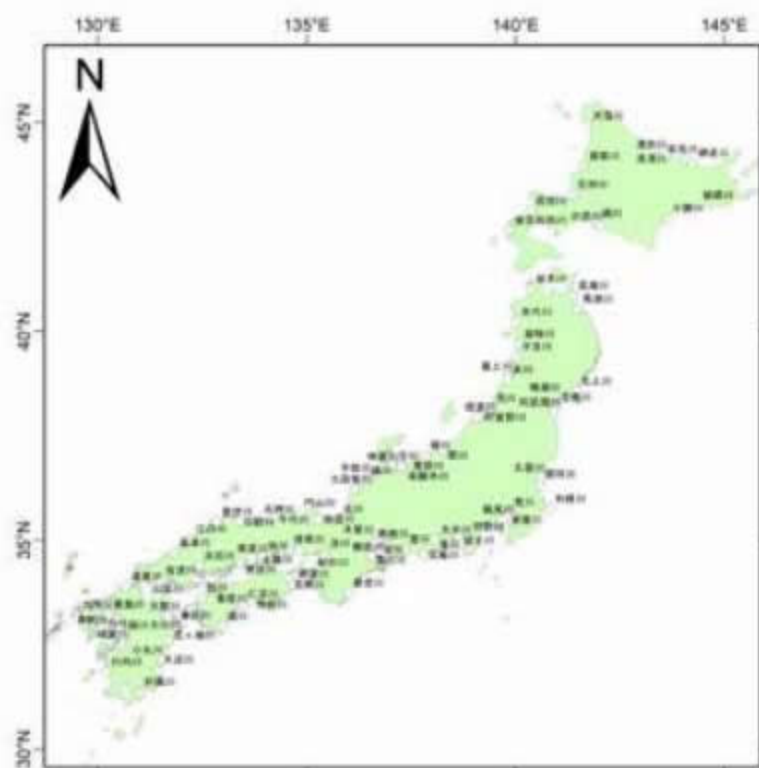


図1 1級水系の全国における分布

今回は、全国的に見て、どのエリアやどの河川において汽水性ハゼ類が豊富か?に注目して見ていきたいと思えます。前述した24種のうち、各水系に何種が生息しているのかを図2に示しています。最も汽水性ハゼ類の種数が多かったのは掛保川水系(近畿地方、兵庫県)と那賀川水系(四国地方、徳島県)で21種、3位は五ヶ瀬川水系(九州地方、宮崎県)で20種、4位は球磨川水系(九州地方、熊本県)で19種、5位は利根川水系(関東地方、千葉県・茨城県)、加古川水系(近畿地方、兵庫県)、佐波川水系(中国地方、山口県)、吉野川水系(四国地方、徳島県)、渡川水系(四国地方、徳島県)および番匠川水系で18種(九州地方、大分県)、10位は高梁川水系(中国地方、岡山県)で17種、11位は雲出川水系(中部地方、三重県)、宮川水系(中部地方、三重県)、白川水系(九州地方、熊本県)および小丸川水系(九州地方、宮崎県)で16種という結果となりました。これらの水系は、全国的に見ても、汽水性ハゼ類が豊富な水系であると言ってもいいと思えます。これら15水系の内訳をみていくと、関東地方が1水系、中部地方が2水系、近畿地方が2水系、中国地方が2水

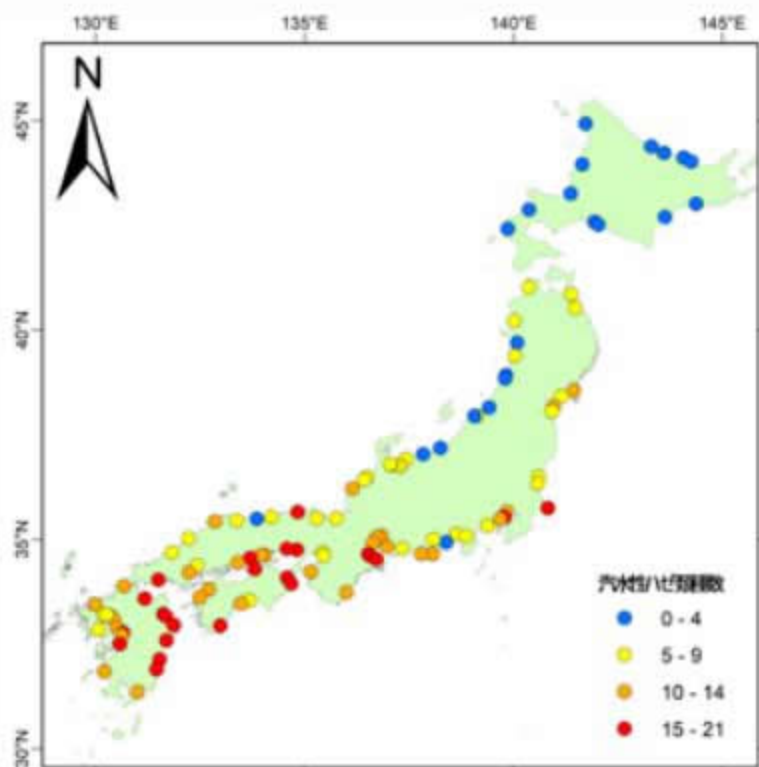


図2 1級水系における汽水性ハゼ類の種数

系、四国地方が3水系、九州地方が5水系となっており、汽水性ハゼ類の豊富な水系は西日本に集中していることがよくわかる結果となりました。なお、汽水性ハゼ類のうち、確認水系数の少なかった種(キセルハゼやイドミズハゼなど)や、純淡水と汽水・海水を行き来する回遊性の性質が強いと思われる種(シロウオやヌマチチブ、ゴクラクハゼなど)、クロユリハゼ科やカワアナゴ科のような広義のハゼ類は今回の集計では対象外としています。よって、これらの種を入れたときの水系ごとの種数のランキングは若干変わってくる可能性はあると思いますが、汽水性ハゼ類の種数が豊富な河川が西日本に集中しているという傾向は不変だと思います。

次に、地方ごとの傾向を見ていきたいと思います。北海道は、どの河川も種数が少ないというのが特徴です(図2)。どんな種が生息しているのかの内訳をみると、アシシロハゼ、マハゼ、ミミズハゼ、ピリンゴのうち1~4種が生息しているのみです。では、北海道には汽水性ハゼ類は生息していないのか?と言われると必ずしもそういう訳ではなく、河川汽水域ではなく内湾や汽水湖を主要生息場に行っているようで、チクゼンハゼ(酒井ほか 1981)やエドハゼ(邊見ほか 2018)も確認されています。

東北地方も基本的には種数が多くないのですが、平均種数は北海道よりは多く、北上川や名取川のように、広い汽水域や干潟を有する河川からは10種以上の汽水性ハゼ類が確認されています(図2)。

中部地方と北陸地方は、太平洋側の種数が比較的多いことに対して、日本海側の種数が少ないことが見て取れると思います。山口県以東の日本海は干満の差が少ないため、流入する河川の河口に汽水域が発達しづらく干潟も少ないことが理由だと考えられます。近畿地方と中国地方も

同様に、太平洋側の種数が比較的多いものに対して、日本海側の種数が少ない傾向があります。ただ、日本海だけに注目すると、北陸地方に比べて、近畿地方や中国地方のほうが、平均的に種数が多いことが見て取れます(図2)。同じ潮汐差の少ない海域(日本海)の中での差ですので、気候や出水のパターンの違いも影響しているかもしれません。庄川水系(北陸地方、富山県)や、九頭竜川水系(近畿地方、福井県)、円山川水系(近畿地方、兵庫県)、斐伊川水系(中国地方、島根県)には10種以上の汽水性ハゼ類が生息しているため、これらの水系は、全国的に見れば見落とされがちですが、日本海の中で重要な汽水性ハゼ類の生息地であると言ってよいと思います。

中国地方の瀬戸内海側、四国地方および九州地方は、全国的にみても汽水性ハゼ類の豊富な地方であるといえるでしょう(図2)。それでも河川によって種数に差がありますので、潮汐や流入する海域、河川の流域特性、そしてヒタットの健全性(人為的影響の大きさ)等の影響によるものだと考えられます。興味深いのは、六角川や嘉瀬川など有明海の奥部に位置する河川が汽水性ハゼ類の種数が西日本の中では比較的少ないことです(図2)。全国的によく見られる種の中で、ミミズハゼ、ヒメハゼ、チチブ、ピリンゴ、ヒナハゼ、ヒモハゼなどが確認されていません。これらの種は、砂底や礫底に生息することが多いため、泥底が卓越する有明海奥部の河口には住みづらいのかもしれませんが、これらの河川には、ハゼクチやワラスボ、ムツゴロウといった、有明海・八代海でしか生息しないような種(今回は集計の対象にしていない)が生息していますので、それらの種を含めると、種数は必ずしも少ないわけではないと言えるでしょう。次号からは、個々の種の分布に焦点を当てて書いていきたいと思っています。

謝辞: 河川水辺の国勢調査のデータは、公益財団法人 リバーフロント研究所からご提供いただきました。厚く御礼を申し上げます。

引用文献: 河川環境データベース: <http://www.nilim.go.jp/lab/fbg/ksnkankyo/>

酒井治己・澤田幸雄・落合敬邦: 北海道有珠湾から得られたチクゼンハゼ、魚類学雑誌 28, pp. 197-198, 1981

邊見由美・乾 隆帝・後藤龍太郎・伊谷 行: 北海道厚岸郡におけるエドハゼ *Gymnogobius macrognathos* の記録およびアナジャコの巣穴利用、魚類学雑誌 65, pp. 199-203, 2018

いぬい りゅうてい
乾 隆帝 - RYUUTEI INUI -

- 福岡工業大学 社会環境学部 社会環境学科 准教授
- 応用生態工学会編集委員
- 土木学会水工学論文編集委員
- 環境省レッドリスト検討委員

主な著書/

- レッドデータブック2014 4 汽水・淡水魚類—日本の絶滅のおそれのある野生生物—(2015)
- 魚類 福岡県の希少野生生物—福岡県レッドデータブック2014(2014)など



場所: 飯塚市幸袋300番地 旧伊藤伝右衛門邸

令和4年度 災害復旧事業に係る研修及び講習会予定一覧

日程/会場	研修・講習会名	主催
令和4年4月27日(水) 福岡県吉塚合同庁舎	(第1回) 福岡県災害復旧実務講習会	福岡県河川協会
令和4年5月12日(木)~13日(金) 砂防会館別館(シェンバツハ・サポー)	令和4年度 災害復旧実務講習会	(公社) 全国防災協会
令和4年5月23日(月)~24日(火) (公財)福岡県建設技術情報センター	災害復旧実務研修	(公財)福岡県建設 技術情報センター
令和4年5月中旬 北九州・筑豊・福岡・筑後北部・筑後南部の 各庁舎で開催予定	災害復旧実務ブロック講習会	県土整備部 河川管理課 道路維持課
未定 災害査定現場ほか	災害査定臨場研修	県土整備部 河川管理課
令和4年12月下旬 【令和3年度実績:12月23日】	(第2回) 福岡県災害復旧実務講習会	福岡県河川協会

※いずれの研修も県内市町村及び県土整備事務所の災害復旧事業担当者を対象としています。

編集 後記

4月号は、チーム杷木から「水の被害から復活へ」、
「川の魅力を再確認」、福岡県河川管理課から「防災
情報」と題し、災害への取り組みや災害への備えに
ついて寄稿していただきました。

いつ起こるか分からない災害の備えに役に立て
ていただければ幸いです。

(友松・北川)

STAFF

発行・編集 福岡県河川協会(福岡県県土整備部河川管理課内)
〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7
TEL:092-633-2826(直通)
FAX:092-643-3669
企画 アロー印刷株式会社

福岡県河川協会ホームページ

<http://www.fukuoka-pref-kasen.jp/kasenkyokai/>

